

社会資本総合整備計画

小田原城城下町地区における街なみ環境の向上
事後評価

おだわらし
小田原市

平成28年9月7日

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書（最終評価書）

平成28年9月7日

計画の名称	1 小田原城下町地区における街なみ環境の向上																										
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	小田原市																						
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が生き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。																										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 事業地区内における修景整備件数を0件（H23）から25件（H27末）に増加 観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を38,759人／年から39,935人／年に増加 																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>① 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。</td> <td>0件</td> <td>-</td> <td>25件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値</td> <td>38,759人/年 (平成22年度実績)</td> <td></td> <td>39,935人/年</td> <td></td> </tr> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	① 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	0件	-	25件		② 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	38,759人/年 (平成22年度実績)		39,935人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																								
① 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	0件	-	25件																								
② 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	38,759人/年 (平成22年度実績)		39,935人/年																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	632百万円	A	509百万円	B	0	C	123百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.5%																	

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
<p>本整備計画を主な支援事業としている「小田原市歴史的風致維持向上計画」について、毎年度、市附属機関である「歴史まちづくり協議会」に意見を聴いたうえで、進行管理・評価を実施している。</p> <p>本整備計画の事後評価については、上記を踏まえ、庁内組織である「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」（事業所管及び関連所管で組織）において、「小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき、実施したものである。</p>	<p>平成28年度</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページに掲載</p>

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	銀座・竹の花周辺地区 街なみ環境整備事業	銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上（修景施設整備）4件	小田原市						13.9	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	清閑亭保存整備活用事業（清閑亭の整備）	小田原市						61.1	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	清閑亭保存整備活用事業（清閑亭周辺散策路整備）L=111.9m(258.64m内)	小田原市						24.7	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	松永記念館整備活用事業（老櫓・葉雨庵改修）	小田原市						20.9	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	松永記念館整備活用事業（本館・収蔵庫修復）	小田原市						86.4	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	松永記念館整備活用事業（庭園修景整備）樹勢回復	小田原市						1.0	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業（城跡周辺環境整備）塀の改修 L=100m	小田原市						6.9	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	案内板等整備事業（道標・説明板整備）7基設置	小田原市						0.5	他市単7基設置
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	小田原文学館整備事業（文学館・白秋童謡館改修工事）構造調査	小田原市						10.6	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	小田原文学館整備事業（文学館土地購入）1755.86㎡	小田原市						247.8	
1-A-2	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上（修景施設整備）10件	小田原市						35.1	
											合計	509.0				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
														0		
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-7	住宅	一般	小田原市	間接	団体	-	清閑亭活用事業	民間団体による清閑亭の活用	小田原市						35.0	
1-C-8	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	松永記念館整備事業	別館の改修	小田原市						85.3	
1-C-10	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原散策マップ等作成事業	歴史案内図作成及び配布	小田原市						0.3	他市単別エリア作成
1-C-11	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原文学館庭園整備事業	庭園整備	小田原市						2.4	
合計													123.0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-7	城跡を中心とした中心市街地の回遊拠点、交流・休憩・体験学習施設として活用することにより、回遊性の向上を図る。	
1-C-8	施設と一体的に歴史的風致を形成している別館の展示改修を実施することにより施設全体の魅力を高める。	
1-C-10	散策パンフレットによる情報提供や回遊ルートの設定により、小田原城下に点在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。	
1-C-11	庭園整備を実施することで、その施設自体の全体的な価値の向上を図ることにより、総じて歴史的風致の維持向上を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 回遊拠点となる歴史的風致形成建造物の整備（周辺含む）・活用を進めたことで、利用者数が約60%増加し、地区内の賑わい創出が図られた。 一定の区域（銀座・竹の花周辺地区）で、14件の修景事業を実施したことにより、今後地中化される電線や歩道整備後の良好な街並みに寄与するものとなった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（修景整備件数）	最終目標値	25 件	目標値と実績値に差が出た要因	平成23年東日本大震災の影響による修景見送りや民間所有の歴史的風致形成建造物の指定に時間を要したことから、目標件数の達成に至らなかったもの。
		最終実績値	18 件		
	指標②（利用者数）	最終目標値	39,935人/年	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	64,937人/年		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 小田原城に近い清閑亭をまち歩き拠点として整備し、観光事業（まち歩き観光）とも連携して、歴史、文化、なりわいに関するイベントや物産関係や芸術家の展示会、食に関するイベント、喫茶の提供、まち歩きツアーの実施など様々な活動を行うことにより、施設の認知度も高くなり、地域経済にも貢献している。 また、整備した施設の活用を通じ、民間団体や地元住民から歴史的街なみの保存と活用に伴う積極的な提案がなされるようになり、まち歩き先の地元住民の街づくりへの意識も高まっている。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

- 先行して整備を実施した清閑亭や松永記念館と同様、小田原文学館の整備やその他周辺整備を進める。
- あわせて3館（清閑亭、松永記念館、小田原文学館）や民間施設など、清閑亭での活用方法などを参考に、観光施策（まち歩き観光など）とも連携し活用を図っていく。
- 上記とともに、引き続き民間の修景整備及び歴史的風致形成建造物に対する整備（助成）、案内板やマップ等の作成を進め、点から面へ連なる街並みづくりに取り組んでいく。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金) 事後評価書 (最終評価書)

